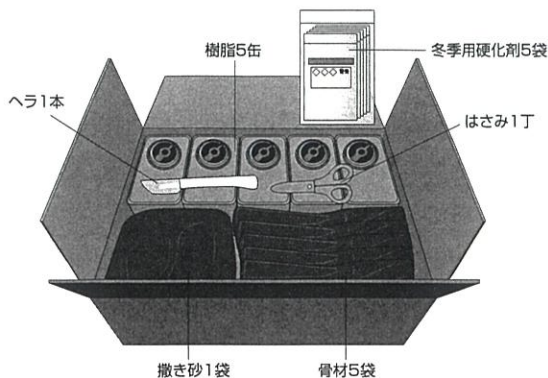


# 『アスクリート クラックメン手』 取扱説明書

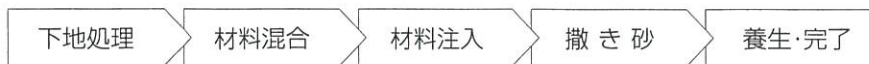
## 1.内容品とその用途



- 樹脂:骨材と混ぜて使用します。  
骨材:樹脂と混ぜて使用します。  
冬季用硬化剤:低温時に添加して、硬化時間を早めます。  
はさみ:材料混合後のビニール袋先端部の切断に使用します。  
ヘラ:材料の敷均しに使用します。  
撤き砂:材料注入後表面に散布します。

## 2.施工方法

### (1)施工フロー図



### (2)施工方法の説明

#### a.下地処理

アスファルト舗装クラック内部に付着したゴミや土・泥・油脂分・水分を除去します。またクラックの脆弱部や旧補修材等は、下地の一体化の弱点部となるためハツリ取るなどして完全に除去してください。

下地処理においては、清浄で乾燥した堅固な下地面に仕上げをすることを目的とします。

#### b.材料混合(補足説明書参照)

骨材をよく揉みほぐした後(特に三角部先端)に骨材(袋入)の中へ樹脂(缶入)を投入し、少し空気で膨らました状態で骨材袋のチャックをしっかり閉めた後、袋中で樹脂と骨材を揉みほぐすようにしてよく混合します(約1分程度)。チャックは締まっていることを必ず確認してください。

#### c.材料注入(補足説明書参照)

混合完了後、袋の先端部をクラックの幅より小さめにハサミで切り(標準切断幅5~10mm)、クラックに注入しヘラにて敷均し、クラックの両サイドに多少かぶるように施工してください。この時、切断部分をクラックにじかに着けながら作業すると注入しやすいです。クラックが深いところなど注入後材料が下がった場合は、再度注入してください。

#### d.撤き砂

材料注入後15~20分程度放置後、全面に撤き砂を散布してください(注入材が見えなくなる程度)。

#### e.交通開放

交通開放は、施工後30分~1時間です(時期により異なります)。

表面にタック(若干のべとつき)が残ることがありますが性能に問題はありません。材料の付着した道具類は、約10分以内に市販のラッカーシンナーにて洗浄してください。

### (3)冬期の施工について

外気温が10℃以下の場合に冬季用硬化剤を使用してください。

骨材1袋の中に冬季用硬化剤を1袋投入して、骨材袋を空練りしてから樹脂を入れて、よく攪拌してください。冬季用硬化剤を添加しない場合、硬化が十分に進行しないことがあります。また、気温の高い日に冬季用硬化剤を使用すると硬化時間が早くなり、可使時間が十分にとれないことがありますので、使用条件には十分注意してください。

硬化時間目安

気温	冬季用硬化剤	可使時間	硬化時間
15℃	無	15分	40分
15℃	有	10分	25分
10℃	無	35分	60分
10℃	有	20分	40分

※上記はあくまで参考値で多少は前後します。各種条件により変わります。

### (4)夏期の施工について

夏場は、硬化が早く進行するため、樹脂と骨材を混合したら素早く施工してください。また、一度に何セットも混合せずに1セットづつ使用し、使用し終わってから次の材料を混合するようにしてください。遅延剤は付いていませんのでご了承ください。

### 3.取扱上の注意

#### 〈火気について〉

樹脂は、消防法に定める危険物第四類第一石油類(引火点21℃未満)に属する可燃性液体です。タバコ等の火気には十分注意を払うとともに、熱や直射日光を避けて保存してください。保管場所、施工場所には、常に消化器を用意しておいてください。

#### 〈樹脂について〉

樹脂に長期にわたって繰り返し接触すると皮膚炎を起こすことがあるので、必ず保護手袋を着用してください。皮膚に付いたときは、布などで拭き取ってから石鹼水でよく洗ってください。揮発分に有害な毒性はありませんが、換気をよくしてください。目に入った場合は、直ちに清浄な水で15分以上洗浄し、医師の診断を受けてください。飲み込んだ場合は、無理に吐き出さず、医師の診断を受けてください。詳しくはSDS(製品安全データシート)をご覧ください。

樹脂並びに注入材は、硬化時に反応熱で高温となり、また刺激臭の煙が出る場合があります。そのような時には、硬化反応が終わるまで屋外で放置してください。

粘度調整や硬化時間の調整のためにシンナー等で薄めることは絶対にしないでください。硬化不良の原因になります。

#### 〈骨材について〉

硬化の段階にて注入材は水分の存在を嫌いますので、骨材は絶対に湿らさないように取り扱ってください。骨材の中に、硬化剤を添加しておりますので、他の骨材での代用はできません。撒き砂についても絶対に濡らさないように取扱願います。詳しくはSDS(製品安全データシート)をご覧ください。

#### 〈冬季用硬化剤について〉

家庭用廃棄物、ゴミ又は他の固形廃棄物と一緒に廃棄したり、排水溝に廃棄しないでください。

廃棄物の処理は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に内容を明示して、処理を委託してください。

くれぐれも誤飲しないように注意してください。詳しくはSDS(安全データシート)をご覧ください。

#### 〈下地温度について〉

夏場の直射日光の下では、路面温度がかなりの高温になります。このような場合、注入材の硬化反応が急速に進行するため可使用時間が極端に短くなり、施工性や仕上がりが悪化し、また、注入材としての性能も低下します。シート等で覆うなどして下地温度を下げて施工してください。また、40℃以上では施工しないでください。

#### 〈材料注入について〉

材料の注入にあたっては、クラック内部に材料が行き渡るように適正な量をゆっくり流し入れてください。

舗装面より盛り上がった場合は、附属のヘラ等を使い平滑に仕上げてください。

#### 〈工具の洗浄について〉

材料の付着した道具類の洗浄は、市販のラッカーシンナーを用いてください。硬化前であれば容易に洗浄できます。また、コテ等を使用した場合に付着した硬化材料は、一晩ラッカーシンナーに浸しておくことで容易に除去できます。

#### 〈保管について〉

アスクリートクラックメン手は、直射日光や雨水を避け、風通しの良い冷暗所に保存し、出荷後6ヶ月以内に使用してください。また、保管場所には火気厳禁の表示をおこなってください。



**美州興産株式会社**

〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1丁目17番28号 TEL(052)551-9400

問合わせ先:名古屋営業所 TEL(052)771-6141 東京営業所 TEL(03)3291-1484  
大阪営業所 TEL(06)6338-7601 松本営業所 TEL(0263)32-2908